

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第2週の発生動向

全数報告の感染症 (2週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：つつが虫病7例、レジオネラ症2例。
- 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
4類	つつが虫病	都城	50歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		日南	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、意識障害
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	男	—	発熱、発疹
			80歳代	女	—	頭痛、刺し口、発疹、全身倦怠感
			70歳代	男	—	発熱、発疹、食思不振
		70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹	
	レジオネラ症	日南	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎
日向		50歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			50歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,606人(定点当たり53.4)で、前週(年始含む)比112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

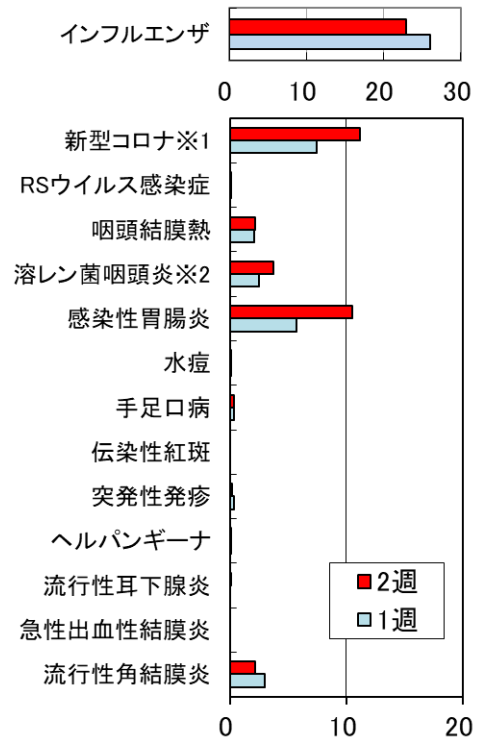
報告数は646人(11.1)で、前週比150%と増加した。高千穂(18.0)、日向(17.3)、延岡(16.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

報告数は1,328人(22.9)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(15.0)の約1.5倍であった。日南(30.2)、延岡(26.3)、都城(26.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約6割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は379人(10.5)で、前週比185%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.0)の約1.2倍であった。小林(16.0)、中央(15.0)、日南(14.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

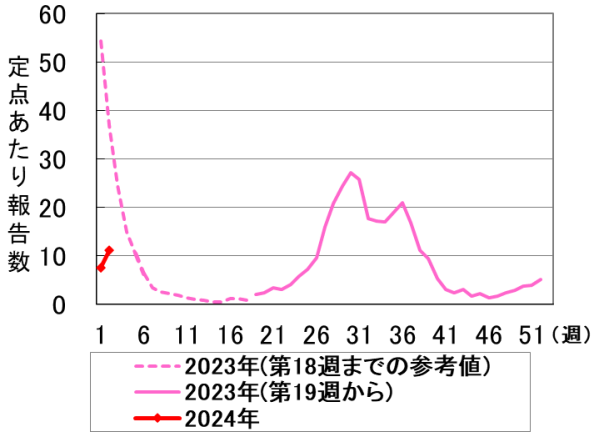


定点あたり報告数

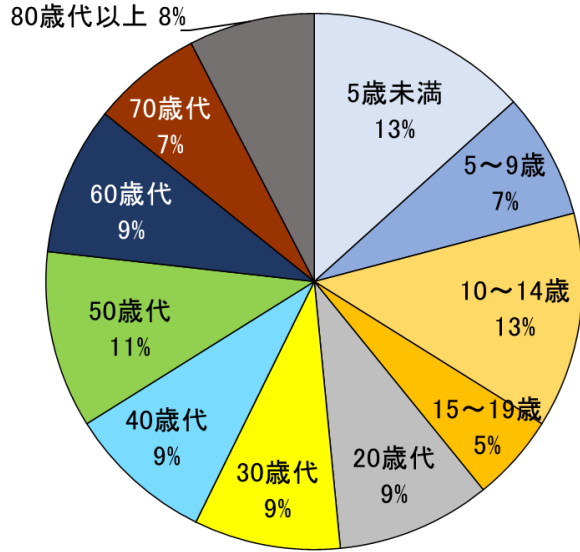
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

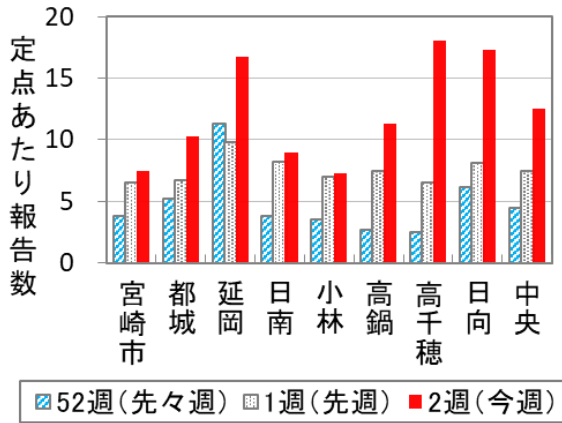


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第2週)

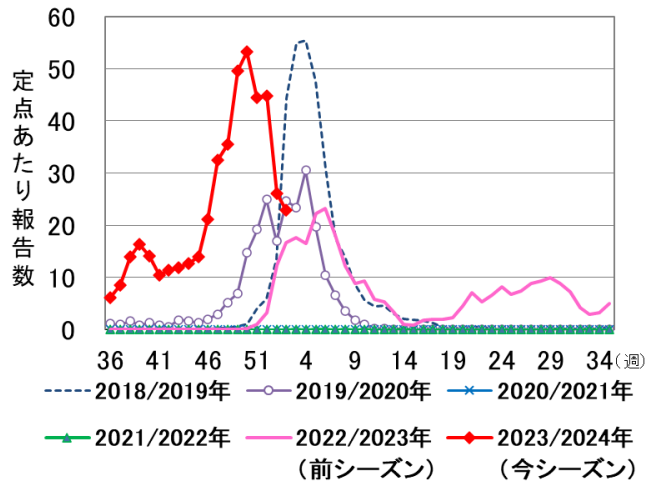


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

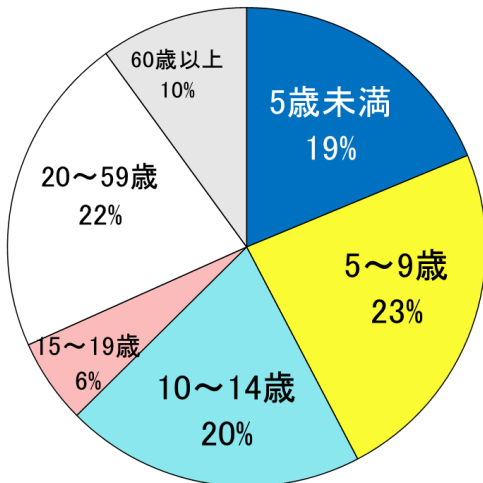
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



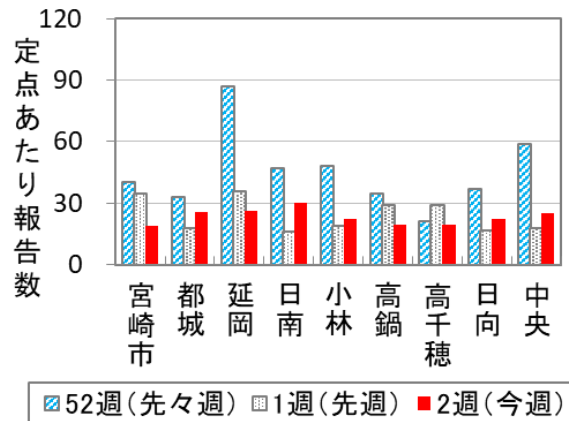
インフルエンザ 発生状況



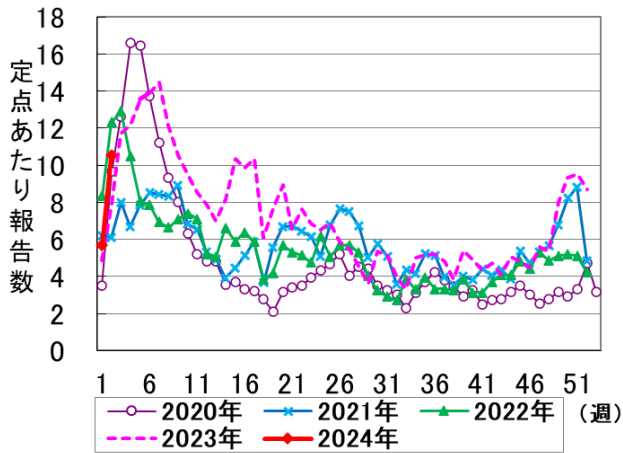
インフルエンザ年齢群別グラフ(第2週)



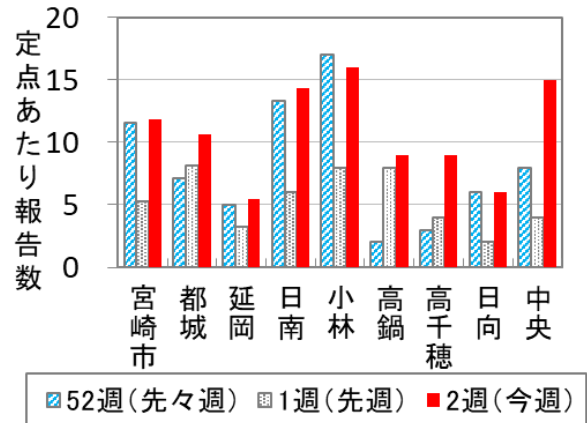
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(18.8)
都城	インフルエンザ(26.0)、咽頭結膜熱(3.3)
延岡	インフルエンザ(26.3)
日南	インフルエンザ(30.2)
小林	インフルエンザ(22.5)、咽頭結膜熱(3.3)
高鍋	インフルエンザ(19.8)
高千穂	インフルエンザ(19.5)
日向	インフルエンザ(22.5)
中央	インフルエンザ(25.0)、咽頭結膜熱(8.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、水痘(1.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

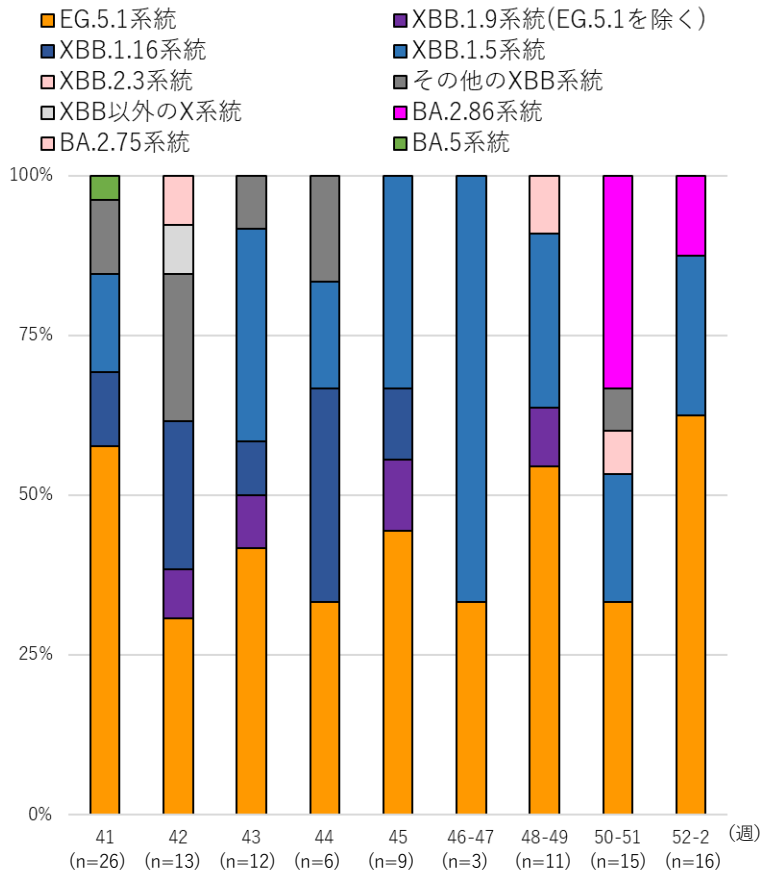
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



第52-2週でBA.2.86系統は12.5%、XBB系統が87.5%を占め、EG.5.1系統（XBB.1.9.2の子孫株）が62.5%を占めた。

BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1（BA.2.10.1系統）／BM.1.1.1（BA.2.75.3系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2024 年第 1 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	78 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	9 例		
4類感染症	Ｅ型肝炎	6 例	つつが虫病	5 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例	急性脳炎	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	31 例	後天性免疫不全症候群	4 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	31 例	水痘(入院例)	2 例
	梅毒	40 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	3 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 66%と減少した(年始含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 61,918 人(12.7)で前週比 58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.1)の約 1.4 倍であった。宮崎県(26.1)、茨城県(22.3)、岐阜県(20.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 34,035 人(7.0)で前週比 120%と増加した。岐阜県(15.2)、長野県(12.6)、愛知県(12.4)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年12月>

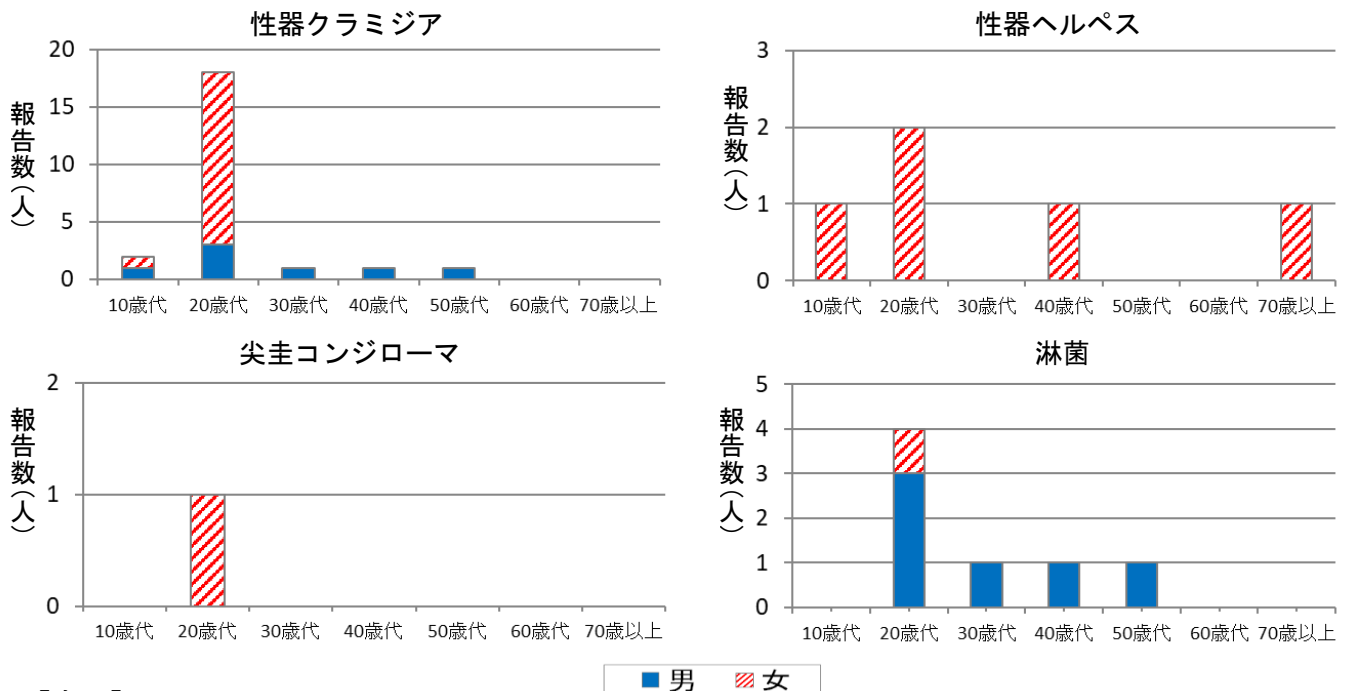
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人(2.8)で、前月比69%と減少した。また、昨年12月(2.8)と同率であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人(1.8)で、前月の約0.7倍、昨年12月の約1.3倍であった。20歳代が全体の約8割を占めた。(男性7人・女性16人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.7倍であった。(女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同率、昨年12月の約0.3倍であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.6倍、昨年12月と同率であった。(男性6人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,558人(4.7)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,462人(2.5)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症798人(0.81)で前月比100%、尖圭コンジローマ507人(0.52)で前月比96%、淋菌感染症791人(0.81)で前月比96%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比106%と増加した。また、昨年12月(3.3)の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月の約1.1倍、昨年12月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,451人(3.0)で、前月比111%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,356人(2.8)で前月比110%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症88人(0.18)で前月比120%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第02週(01月08日～01月14日)

疾病名		第01週	第02週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1511	1328	300	260	184	151	90	119	39	135	50
	定点当り	26.05	22.90	18.75	26.00	26.29	30.20	22.50	19.83	19.50	22.50	25.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	432	646	119	103	117	45	29	68	36	104	25
	定点当り	7.45	11.14	7.44	10.30	16.71	9.00	7.25	11.33	18.00	17.33	12.50
RSウイルス感染症	報告数	2	4	3							1	
	定点当り	0.06	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	76	77	18	20	11	2	10	2	1	5	8
	定点当り	2.11	2.14	1.80	3.33	2.75	0.67	3.33	0.50	1.00	1.25	8.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	91	136	55	32	17	2	3	9		9	9
	定点当り	2.53	3.78	5.50	5.33	4.25	0.67	1.00	2.25	0.00	2.25	9.00
感染性胃腸炎	報告数	205	379	118	64	22	43	48	36	9	24	15
	定点当り	5.69	10.53	11.80	10.67	5.50	14.33	16.00	9.00	9.00	6.00	15.00
水痘	報告数	3	1									1
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	14	13	2	4		1		1		4	1
	定点当り	0.39	0.36	0.20	0.67	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	1.00	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	6	1	1	1		1	1			1
	定点当り	0.36	0.17	0.10	0.17	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2					1				1
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	13	10	2	1						
	定点当り	3.00	2.17	3.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～2週 保健所受理分)

2類感染症	結核	1例(1)		
4類感染症	つつが虫病	9例(7)	レジオネラ症	2例(2)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	1例(1)
			梅毒	6例(3)

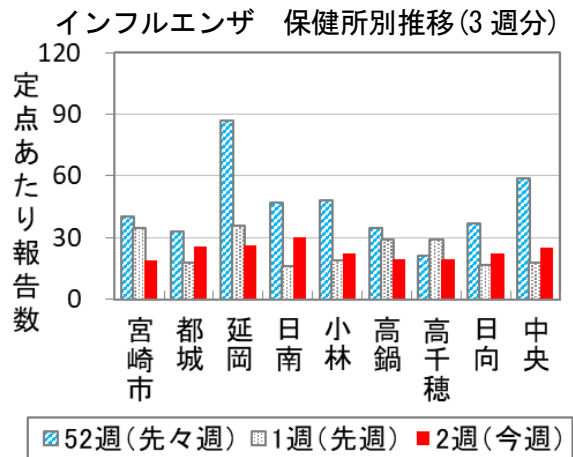
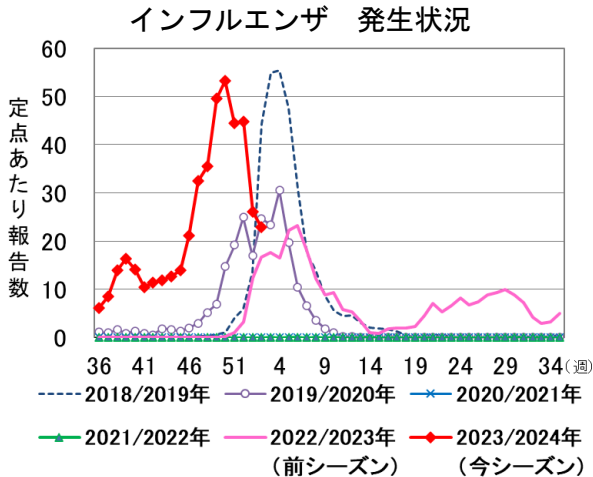
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第2週、全国第1週（再掲）》

□ 県内第2週インフルエンザ発生動向

1月8日～1月14日までの1週間で1,328人(22.9)の報告があった。前週比88%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*(15.0)の約1.5倍であった。

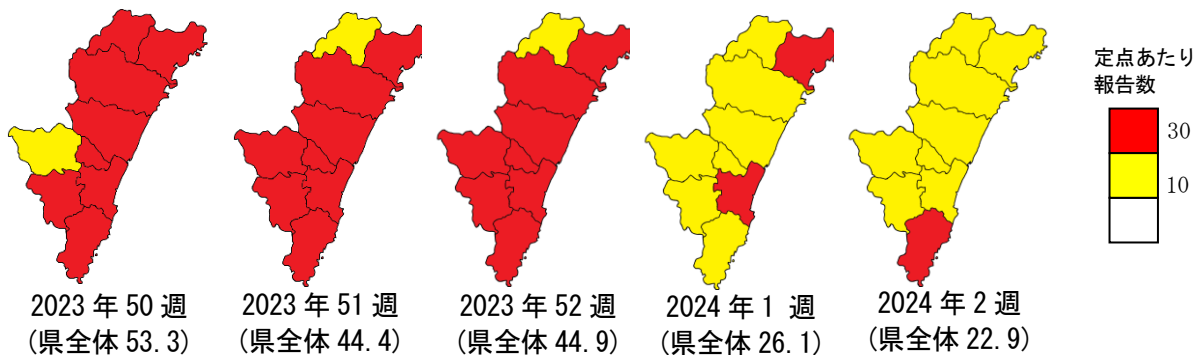
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第50週～2024年第2週)

1,328人 2週	19%	23%	20%	6%	22%	10%
1,511人 1週	21%	18%	13%	6%	33%	9%
2,602人 52週	19%	25%	18%	10%	23%	5%
2,577人 51週	19%	29%	21%	9%	17%	5%
3,089人 50週	17%	33%	24%	6%	15%	5%
	□5歳未満	□5～9歳	□10～14歳	□15～19歳	□20～59歳	□60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第50週～2024年第2週



□ 全国第1週インフルエンザ発生動向

1月1日～1月7日までの1週間で61,918人(12.7)の報告があった。前週比58%と減少し、宮崎県(26.1)、茨城県(22.3)、岐阜県(20.8)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の16%、5-9歳が14%、10-14歳が11%、15-19歳が7%、20-59歳が42%、60歳以上が10%であった。